

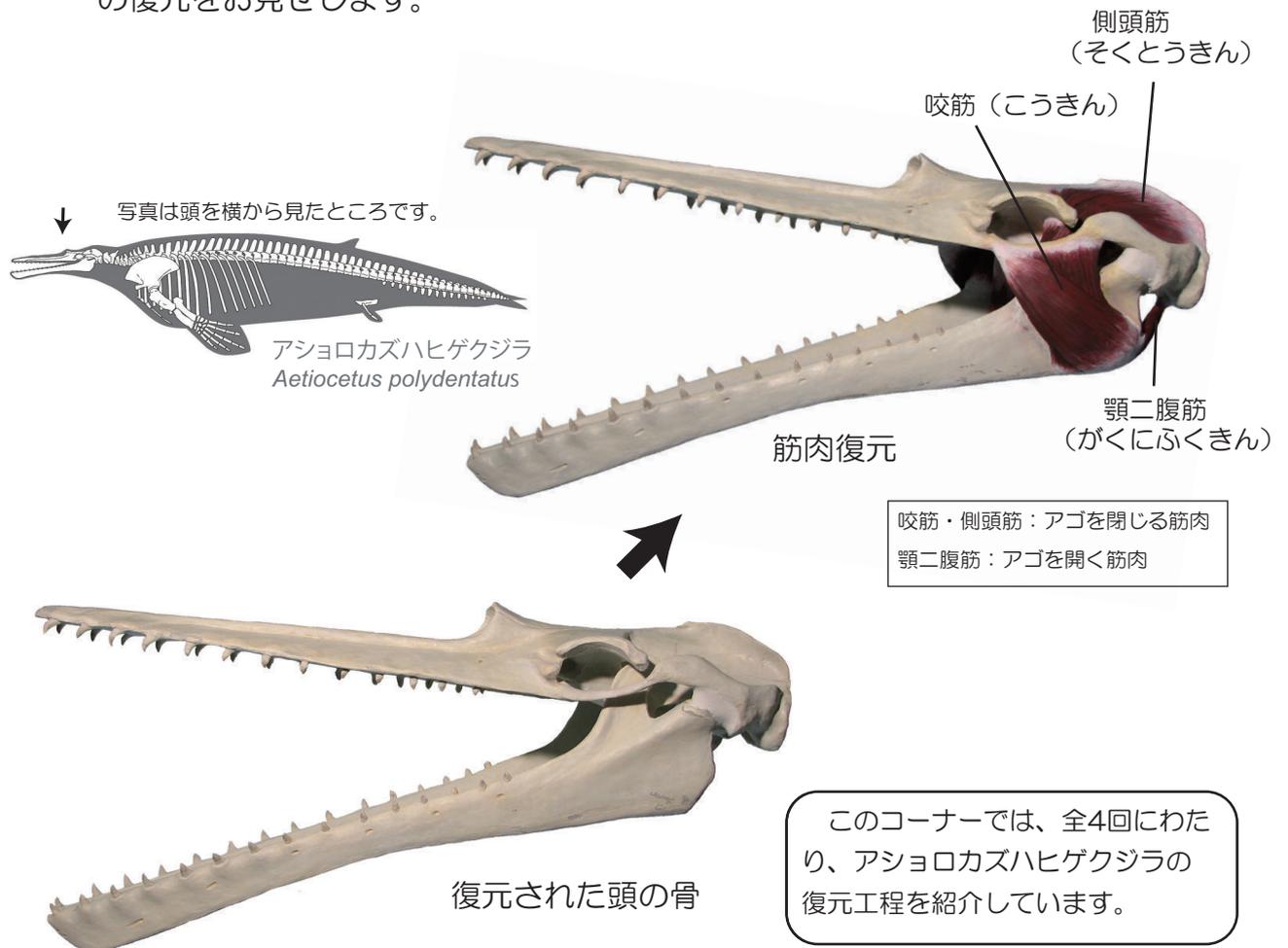


No. 117 2011年 1月

## 博物館へ行こう!

### アショロカズハヒゲクジラ復元への道 ②

アショロカズハヒゲクジラは2500万年前のヒゲクジラの仲間です。ヒゲクジラになりかけの動物で、アゴには歯があります。下アゴを引き上げて口を閉める筋肉＝咀嚼筋（そしゃくきん）は後方の顎関節周辺にあります。この復元では現在のヒゲクジラを参考に筋肉を復元しました。次号では皮膚の復元をお見せします。



足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

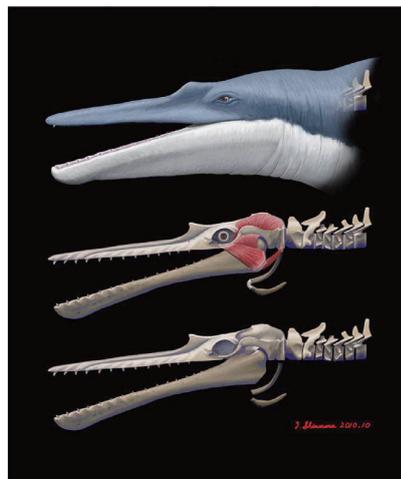
No. 117

2011年 1月26日発行  
(年4回発行)

# ○韓国の科学イラストコンテストで入賞

◇アショロカズハヒゲクジラの復元画が「The 1st Science Illustration Contest」で銅賞！

韓国の科学雑誌「東亜サイエンス」創立10周年を記念して開催された科学イラストコンテストで、当館の新村龍也学芸員の作品が入賞しました。科学イラストとは、専門書や図鑑などに使われているイラストで、科学的な内容を正確かつ魅力的に伝える必要があります。作品のタイトルは「アショロカズハヒゲクジラの連続復元」で、博物館だよりでもお知らせしている化石クジラの復元作業の過程をイラストにしたものです。一般の部への応募者数約120点の中から、新村学芸員はみごと銅賞を受賞しました。

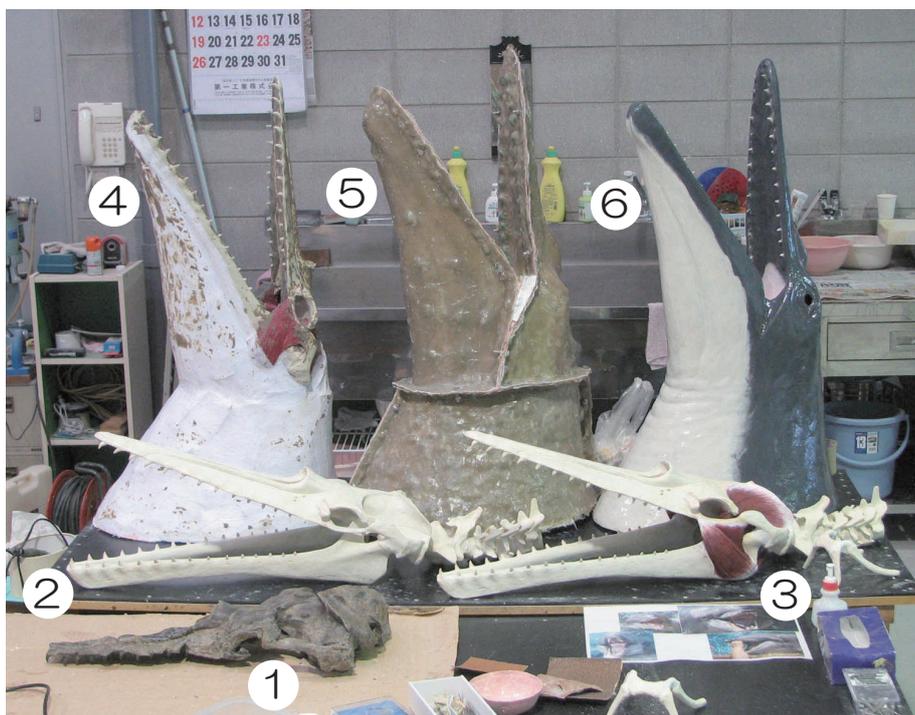


受賞作品  
「アショロカズハヒゲクジラの連続復元」

# ○アショロカズハヒゲクジラの復元作業を公開中！

◇現在足寄産のクジラ化石の復元作業を公開しています！

この写真では復元作業の過程を見ることができます。まずクジラの化石のレプリカ①を元に頭の骨②を復元し、筋肉③を復元し、その部分を芯④にして生きていた当時の姿を油粘土で復元し、シリコンで型⑤を取り、中に樹脂を塗り生体復元⑥がほぼ完成しました。ここからさらに細かい塗装をして眼球を入れると完成です。



復元作業には当館で博物館実習を行った帯広畜産大学の4年生の皆さんにも手伝っていただきました。

現在進行中の復元作業は博物館で見学できます。復元模型は1月中に完成する予定です。

## ○カバ頭部の解剖

2011年1月5日に、帯広畜産大学の佐々木研究室と共同で、カバ頭部の解剖を行いました。カバは帯広動物園で飼育されていた個体です。カバの皮の硬さに悪戦苦闘しながらの解剖でしたが、口の中の口蓋ヒダとよばれる部分や口を開け閉めする筋肉などを観察することができました。この頭部を骨格にする処理もすでに終わり、体の部分と合わせて化石工房で展示しています。将来的には全身の復元骨格として組み上げる予定です。



解剖前のカバの頭部

カバは、クジラと束柱類の化石が産出している足寄にとって実は縁のある動物です。分子生物学の研究によれば、現生の動物でクジラともっとも近縁なのはカバですし、アショロアやデスモスチルスなどの束柱類は、しばしば「海辺のカバのような」という表現をされる、水生適応した生き物でした。

## ○古生物模型づくり にぎやかでした

1月8～10日 3日間で61名



説明を聞く保育園児

館内での「化石体験」に新しく導入を検討している「古生物模型づくり」を、町内の幼児・小中学生に事前にとりくんでもらいました。学校などを通して招待状を配りました。3日間で61名の参加者でした。

提供したのは大型肉食恐竜ティラノサウルスの頭の骨の縮小模型。石膏で模型をつくった後、思いおもいに色を塗りました。恐竜もびっくりするほど多彩なティラノができあがりしました（カラー写真はウェブ版の博物館だよりで見ることができます）。

今後は、デスモスチルスの頭骨も加え、新シリーズ「古生物模型づくり」として来館のみなさんにおたのしみいただく計画です。4月からの本格実施をお楽しみに。



恐竜もびっくり！  
カラフルなティラノサウルス



色塗りにとりくむ小学生

## ○ミニ発掘にムーンストーン登場！！

2011年新春から、ミニ発掘にムーンストーン（月長石）が登場しました。今年はウサギ年！ウサギといえば月！ということでムーンストーン新登場です。



ムーンストーン（月長石）は、その名前が示すとおり長石の仲間です。長石はもっとも一般的な鉱物の一つで、ほとんどすべての岩石に含まれています。たとえば道端に落ちている小石にも長石が含まれています。長石には様々な種類がありますが、ムーンストーンはアルカリ長石と呼ばれる長石で、薄い2種類の長石が交互に並んでいるため、光を当てる角度によってさまざまな光り方を楽しめます（閃光効果といいます）。

4月からのミニ発掘では、ムーンストーンを含む5種類のクリスタルと、1種類の化石が新登場します。お楽しみに！！

## ○探鳥会のおしらせ

わたしたちの生活にもっとも身近な野生動物である鳥たちを足寄の野山で探りませんか。

恒例の、春の探鳥会をおこないます。



昨年の探鳥会の様子（第1回）

- 第1回 4月3日（日） 午前8時  
川向のJAあしよろ乾燥工場前集合  
（栄町から共栄橋をわたったところ）
- 第2回 5月8日（日） 午前8時  
里見が丘公園駐車場の芝桜園入り口集合  
（郊南交差点から西へ、国道241号沿い）

\*不明な点は博物館までお問い合わせください。

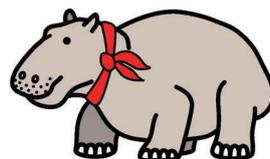
各回とも2時間くらいです。十分な防寒で、第1回は長靴を履いてきて下さい。双眼鏡、カメラ、筆記用具などをお持ちください。

### 足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）  
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円  
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。  
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



### 編集後記

皆さま明けましておめでとうございます。2011年最初の博物館だよりをお届けします。ウサギ年の今年はどんな躍進の年となるでしょうか。今年も足寄動物化石博物館をよろしくお願いいたします。